



# 東京日々新聞

八百六十五号



十月下旬主人の

藝術と白浪

等手み及と振

ひらき

乱入

数名と

相手と

無刀の憤闘

左右ふり

彼が及と奪取て

多勢み手病と負

いせつれバ地賊大に僻易

して他より盗来つる品を遺失て逃

去しが翌日忽地阪府を一同

捕縛せしむると也

振所天王寺の東平野の郷の支村新在家と

云よ巧み住五増田觀四郎ハ昔藩の

頃農兵の長を銃銃の術と



本提付居士  
抄と巻述



蕙齋方哉

平具足屋 渡辺彫栄

